

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB）		
ナンバリングコード	E21202	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年／開講期	2年／後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002580	クラス名	小久保ゼミ
担当教員名	小久保 雄介		
履修上の注意、 履修条件	商品企画の現場では、自ら高いアンテナを張り、様々なことに対して興味を持って取り組む姿勢が必要になります。受け身にならず、ぜひ自分から考え、行動するようにしてください。 また、授業内で分析を行ったりまとめ作業などを行いますのでPCを準備しておいてください。 チームで活動しますので、チームのメンバーでコミュニケーションをしっかりと取り一丸となってプロジェクトを楽しみながら進め、学生らしい企画を行うこと。他人と協調できない方は適しません。		
教科書	著者:神田範明 書籍名『神田教授の商品企画ゼミナール』 出版社:日科技連出版 発行年:2013 価格:¥3,240		
参考文献及び指定図書	著者:神田範明, 小久保雄介 書籍名『失敗しない商品企画教えます:リアル事例で学ぶ最強ツールP7の使い方』 出版社:日科技連出版社 発行年:2019 価格:¥3,240		
関連科目	マーケティング論、統計学、社会調査法		

○基本情報		
授業の目的	地域課題を解決するための問題解決手法を学習します。 様々な企業で使われた商品企画七つ道具を学習しながらチームで実践を行い、地域を活性化するための企画を行ってもらいます。(後期は定性的調査を行う) 活動の中で、チームワーク、良質かつ大量のアイデア発想技術などを身に付けていきます。	
授業の概要	授業は主に講義パートと実践パートの2つになります。 講義パートは輪読形式で主に学生が予習を行い、作成した資料をもとに説明をしてもらいます、その後発表を受けての議論を行います。 実践パートは講義パートをもとに、チームで実習を行います。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	商品企画についての興味、関心をもち、積極的に授業に参加する。また、チームでの活動がしっかりできる。		20点	
【知識・理解】	商品企画についての知識が身についている。	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	チームでプレゼンテーションを作成し、発表することができる。その際にデータなどで論理的なプレゼンを行うことができる。		15点	20点
【思考・判断・創造】	様々な手法を用いて感動的な商品アイデアを作ることができる。		5点	20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
評価の観点は次のようになります 関心・意欲・態度…毎週の授業でコメントペーパーを記入してもらいます。出席＋ペーパーの提出(15点)、チームでの活動の様子(5点) 知識・理解…学期末に行う簡単なチェックテスト(10点)、最終プレゼンでの手法の理解点(10点) 技能・表現・コミュニケーション…最終プレゼンでのプレゼンテーション資料、レジュメの評価点(15点)、発表自体の評価点(20点) 思考・判断・創造…最終プレゼンで出されたコンセプトの独創性(25点) 課題やレポートについては返却時にフィードバックを実施する。評価の方法については授業内で基準を提示する。 なお プレゼンテーションの評価は発表者以外の学生の採点＋担当の採点で行う予定である	

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB） 小久保 雄介	授業コード	E002580
学修内容				
1. オリエンテーション 前期の復習 後期のゼミナール内容と前期の復習を行う。後期の内容の概略として事例紹介を行う。				
予習	前期の内容の復習を行う。			(約2.0h)
復習	チームで扱うテーマについて考える、アンケートへの回答			(約2.0h)
2. チームビルディング・手法の概要説明 (担当が講義します) 商品企画七つ道具についての解説、商品企画とは何かなどを解説します。 その後チームに分かれてチームビルディングを行います。				
予習	他の人の自己紹介について振り返る。教科書P15～26を読む			(約2.0h)
復習	チームで扱うテーマについて確定する。事前情報を集める			(約2.0h)
3. (講義パート)ターゲットについて、フォト日記調査 商品のターゲット設定について、フォト日記調査の概要、ポイントについて講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームで日記調査のデータフォーマットを作成する。				
予習	教科書のP15～40を読む			(約1.0h)
復習	チームの中で日記調査のデータを作成してみる。			(約3.0h)
4. (講義パート)仮説発掘アンケート(実習パート)仮説発掘アンケート 仮説発掘アンケートの概要、ポイントについて講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームで仮説発掘アンケートを作成する				
予習	P41～46を読む			(約1.0h)
復習	チームの中で仮説発掘アンケートを作成する。			(約3.0h)
5. (実習パート)手法1仮説発掘法 チームで行ったフォト日記調査、仮説発掘アンケートからアイデアを収集する。また、集めたものからアイデアのスクリーニングを行う。				
予習	仮説発掘アンケートの実施			(約2.0h)
復習	スクリーニングしたアイデアを整理する			(約2.0h)
6. (講義パート)アイデア発想法（焦点発想法、アナロジー発想法）(実習パート)焦点発想法・ブレインライ アイデア発想法の概要、焦点発想法、アナロジー発想法についての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームで焦点発想法を行う。				
予習	教科書のP47～58を読む			(約2.0h)
復習	焦点発想法でアイデアを創出する			(約2.0h)
7. (講義パート)ブレインライティング（実習パート）ブレインライティング、アナロジー発想法 ブレインライティングについての講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームでブレインライティングを行う。				
予習	教科書のP62～67を読む			(約2.0h)
復習	今までのアイデアをリスト化しておく			(約2.0h)
8. (講義パート)各種アイデア発想法（実習パート）アイデア選択法 その他のアイデア発想手法、アイデア選択についての講義を行う。チームでアイデア選択を行う				
予習	自分たちのテーマを評価するときにどのような基準で評価をするか考える。			(約2.0h)
復習	アイデア選択の結果をまとめ、簡略な説明を入れた資料を作る。			(約2.0h)

○授業計画	科 目 名	ゼミナールⅡB（SeminarⅡB）	授業コード	E002580
	担当教員	小久保 雄介		
学修内容				
9.（講義パート）グループインタビュー（実習パート）インタビューのシナリオ作り グループインタビューの概要、ポイントについて講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。チームでインタビューのシナリオを作成する				
予習	教科書のP65～77を読む			（約2.0h）
復習	インタビューに向けて練習を行う			（約2.0h）
10.（実習パート）グループインタビュー その1 作成したインタビューのシナリオをもとにインタビューを行う				
予習	インタビューのシナリオを練習を受けて修正する			（約2.0h）
復習	インタビュー結果のまとめを行う			（約2.0h）
11.（実習パート）グループインタビュー その2 作成したインタビューのシナリオをもとにインタビューを行う				
予習	他班のインタビューを受けてシナリオを修正する			（約2.0h）
復習	インタビュー結果のまとめを行う			（約2.0h）
12.（講義・実習パート）評価グリッド法 評価グリッド法の概要、ポイントについて講義を行う。その後、発表のフィードバック、議論を行う。実習で評価グリッドを行う。				
予習	教科書のP78～84を読む			（約1.0h）
復習	評価グリッドのまとめを行う			（約3.0h）
13.（実習パート）評価グリッド法 前週に実施した評価グリッド法を更に対象人数を増やして実施する。その後データをまとめて評価構造のラダリングを行う。				
予習	評価グリッド法の復習を行う			（約2.0h）
復習	評価構造図の作成を行う			（約2.0h）
14. 前期のまとめ、プレゼンテーション作成 前期のまとめの簡単な試験を行う。その後各チームでプレゼンテーションに向けての打ち合わせを行う。				
予習	試験に向けての勉強を行う			（約3.0h）
復習	次回の発表に向けてプレゼンの作成を行う			（約3.0h）
15. 前期のまとめ、プレゼンテーション 各チームごとに1年間のまとめとしてのプレゼンテーションを行う。				
予習	プレゼンテーション資料の作成、練習を行う			（約3.0h）
復習	各班のプレゼンテーションを見て自分たちの班の修正を行う。			（約1.0h）
16.				
予習				
復習				